

日総工産の50年を支えてきた採用現場の声を12月号と2月号の2回にわたりお送りします。
今回はその前編です。

Vol.5

「よく話が脱線しちゃうんですね」

採用部は人材サービスの日総工産において、就業希望者と最初に接する部門だ。ポタンの掛け違いが起きないように丁寧な仕事求められる。今回はその採用の現場の最前線を走ってきた樋口留恵子さんを紹介する。



弘前サテライト 主任
樋口留恵子 氏

樋口さんは平成8年11月に入社。当時は青森県弘前市にて営業所のバックヤード業務を担当していたが平成15年からは採用業務を担当し最前線を走ってきた。今年で25年になる。そんな彼女は(本人は否定しているが)きがね人(津軽弁で気が強い人の意)だ。常に就業希望者に腹を割って話をしてきた。真っ向勝負。忙しいときは固定電話2つに携帯電話1つを1人で回したという。市内に紹介できる案件が無い時も多く、県外の仕事紹介もたくさんしてきた。きがね人じゃなければできない仕事だ。

相手を思いやる気持ちも非常に強い。就業希望者を県外に紹介する時は生活の心配もするので必ずその周辺環境を調査する。地元を離れ、やる気と不安が入り混じった日総社員にエールを送る。赴任当日は自分の気持ちも一緒にその地域に行くような気分になるという。誠意をもって接することで、「あそこに行けば相談に乗ってくれるから!」と面接された方がお友達を紹介してくれ、評判が広まることも多い。だから人が人を呼ぶ。これまでに面接した数は2,000人以上、面接

以外のコミュニケーションも含めれば4,000人はくだらない。県外へのお仕事紹介実績は何度も全国No.1になった。

「時代は変わってきましたが、人と話したい、人と関わりたいという本質の部分は今でも変わってないと思います。初対面で打ち解けて本音を話す方はいませんが、できるだけ本音で話せるような雰囲気作りを心掛けています。まずは相手を笑顔にすることからですね」信頼関係を築くことが重要だと考えていると言う。

「誠意をもって接すれば、その人の抱える事情や目標を教えていただけるようになり、本人の希望とマッチングさせやすくなるので、気持ち良く働けることにつながり、簡単に辞めたりしなくなります。自分は話が好きなので会話を重ねることで話が脱線することも多いけど、もしかしてそれがコツかもしれない」と照れくさそうに話してくれた。

今回は実際にあったエピソードを紹介いたします! お楽しみに!

会社DATA

商 号：日総工産株式会社

本 社：〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜1-4-1
日総工産新横浜ビル

創 業：1971年(昭和46年)2月3日

代 表 者：代表取締役社長執行役員兼CEO清水竜一

資 本 金：2,015百万円(2021年3月31日現在)

従業員数：1,167名(連結：1,640名)

事業内容：製造系人材サービス

(製造派遣、製造請負、職業紹介等)

e-mail：k-eigo@nisso.co.jp

U R L：https://www.nisso.co.jp/